

各 位

2022 年 10 月 31 日

株式会社三井住友銀行

株式会社リオ・ホールディングスに「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社リオ・ホールディングス（代表取締役：中川 智博）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※1）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社リオ・ホールディングスについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 不動産のリノベーションを通じた活気あるまちづくりへの貢献、建物の長寿命化の促進

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

② ホテルの再生事業を通じた地域振興の推進

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.9 2030 年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品促進につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



西鉄久留米駅前「千歳プラザ」
リノベーションと再生※2



「魅せるブレース」で
耐震工事もデザインの一部に※2



地域愛を表現するホテル
「GLOBAL VIEW 新潟」※2

<ご参考>

※1 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

※2 その他、目標11及び目標12に関連する取り組みは株式会社リオ・ホールディングスホームページ「リノベーション事例集」参照。

以 上